

第1学年 国語科 学習指導案		日時	令和2年11月20日(金) 5校時
題材名	シカの「落ち穂拾い」 ーフィールドノートの記録から	学年・組 人数	第1学年B組 男子13名 女子15名
指導者	山田 裕華	場所	尾道市立因北中学校 1年B組 教室

## 1 単元観

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編では、第1学年2内容〔知識・技能〕(2)ア「原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。」、〔思考力・判断力、表現力等〕C読むこと(1)ア「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。」と示されている。

本単元では、既習の説明文とは形式の異なる記録の文章である「シカの『落ち穂拾い』ーフィールドノートの記録から」を取り上げる。本教材は、「観察のきっかけ、観察から分かったこと、仮説、検証、考察」と、小見出しを付け順序立てて研究の流れを示すとともに、図表を用いて意見を支える事実も示している。そのため、生徒は小見出しと図表が示す内容に着目して、事実と意見を読み分けることができると考える。また、考察部分に筆者の意見が集約されているため、要旨をまとめる活動を行う上でも適した教材であり、筆者の主張をすべての生徒が捉えられることが期待できる。

## 2 生徒観

本単元に係る意識調査の結果、「説明文の授業は好き」と肯定的回答をした生徒は48%に留まった。その理由として「筆者の伝えたいことを読み取ることが苦手だから。その読み取り方がよく分からないから。」などが多く挙げられた。そこで、追加調査として「事実と意見の読み分け」「要旨を捉える」についての意識調査及び調査問題を行った。以下はその結果である。

	意識	実態 正答(準正答)	
		短文	文章
①事実と意見を読み分けることができる。	69%	81%	48%(33%)
②説明的な文章を読んで、要旨を捉えることができる。	69%	30% 無解答7%	

①の結果から、短文では事実と意見を読み分けることができるが、文章になると読み分けが困難になってくる。そのため、「事実と意見を読み分けることができる」と答える生徒が69%に留まったと考えられる。

②の結果から、文章を読んで要旨を正しく捉えることができたのは30%であった。不正答の傾向は、「自分の意見になっている」(19%)、「事実を書いている」(15%)、「本文の抜き出しに留まっている」(19%)である。このことから、約7割の生徒が「要旨を捉えることができる」という意識を持っているものの、正しく理解することができていない実態がある。一方で、「文章を読んで、重要などところを見つけられる力、説得力のある文を書く力、事実と意見を正確に見分ける力などを身に付けたい」など、学習への意欲が見られる。

授業では説明文を読む際のポイントを再度押さえながら進め、筆者の主張を捉えられるようにするとともに、今後の説明的文章の読解への意欲向上となるような学習を目指していく。

## 3 指導観

本単元を貫く学習課題として「誰でも使いやすい読解ポイント集をつくろう」を設定し、本単元と既習説明文の再読解を行うことを通して、説明的な文章を読み解いていくことの楽しさを感じさせたい。

指導に当たっては、第1次において、既習説明文2本(「ダイコンは大きな根?」「ちょっと立ち止まって」)との読み比べを行い、文章構成や工夫などにおける共通点や相違点を整理する。その際、本単元はどのように読めば良いのか予想を立てさせることで、課題意識を持つとともに、既習内容との関連を図る。また既習プリントを用いて、説明文の読解ポイントを押さえるとともに、誰でも使いやすいポイント集にするためにどのようなことを書き加えるとよいのか整理させる。

第2次では、小見出しごとに内容を読み取り、その中でどのような事柄が説明されているのかを捉えさせる。その際、小見出しと図表に注目して事実と意見を読み分けるとともに、読み取った内容をもとに要旨をまとめさせる。

第3次では、これまでの学習のまとめとして、説明文の読解ポイントを整理し、交流させる。そして、生徒が作成した読解ポイント集を用いて初読の文章読解に取り組ませる。

これらの学習を通して、筆者の主張や、主張に至るまでの事実と意見の書かれ方などを捉えさせるとともに、説明的文章に対する学習意欲を高めていきたい。

4 単元構想

<b>めざす姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明的な文章を読み、事実と意見を読み分けることができる。</li> <li>・説明的な文章を読み、要旨を捉えることができる。</li> <li>・説明文を読む際のポイントを見つけ、まとめることができる。</li> </ul>
-------------	--

目標	単元の課題 「シカの『落ち穂拾い』－フィールドノートの記録から」(全7時間) 説明的文章を読んで、読解ポイントを指摘することができる。	生徒の学習活動	評価規準	評価方法
	学習課題・発問			
ふりかえる	◎ふりかえり(1) 初読文章に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめたポイントを生かして、文章読解に取り組む。</li> <li>・全7時間の学習で何を学んだのか、今後の学習に生かせることは何か整理する。</li> </ul>	[主体的に学習に取り組む態度]	振り返りシート
思考	<div style="text-align: center;">↑</div> ◎読解ポイントをまとめる(1) 【本時】 「誰でも使いやすい読解ポイントをまとめよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの読解方法を振り返り、説明的文章の構成や工夫などについて、読解ポイントを整理する。</li> </ul>	[思考・判断・表現]	WS, 発言 GWの様子
思考	◎構造と内容の把握(3) 「記録の文章の構成と内容をつかもう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小見出しごとに内容を読み取り、まとまりを事実と意見に分ける。</li> <li>・要旨をまとめる。</li> </ul>	[思考・判断・表現]	発言 GWの様子
知識	<div style="text-align: center;">↑</div> ◎課題設定, 本文読み(1) 「説明文の読解ポイントとは？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習プリントを用いて、説明文の読解ポイントを押さえ、どのような追加ポイントが必要か整理する。</li> </ul>	[知識・技能] [思考・判断・表現]	WS GWの様子 発言
関心	<div style="text-align: center;">↑</div> ◎「[記録の文章]を知る(1) 「今までの説明文と何が違うのだろうか？」 「どうやったら読めるのだろうか？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ダイコンは大きな根?」「ちょっと立ち止まって」と読み比べ、共通点・相違点を整理する。＝記録の文の特徴</li> <li>・どうやって読めばいいのか予想を立てることで、課題意識を持つ。</li> </ul>	[知識・技能]	発言 WS GWの様子

**本校で育成する資質・能力**  
**【課題発見・解決能力】**  
 説明文の読解方法に対して苦手意識を感じている。  
 「事実と意見を読み分けるにはどうしたらよいか」クラス全体の課題として取り組ませ、読み分ける力を付けるとともに、自信を持たせたい。

生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実と意見を読み分け、筆者の主張を捉えることに苦手意識がある。</li> <li>・説明文の読解に自信のない生徒もいるものの、「自分の力で説明する文を書けるようになりたい」などの向上心がある。</li> </ul>
-------	---

5 本時の展開

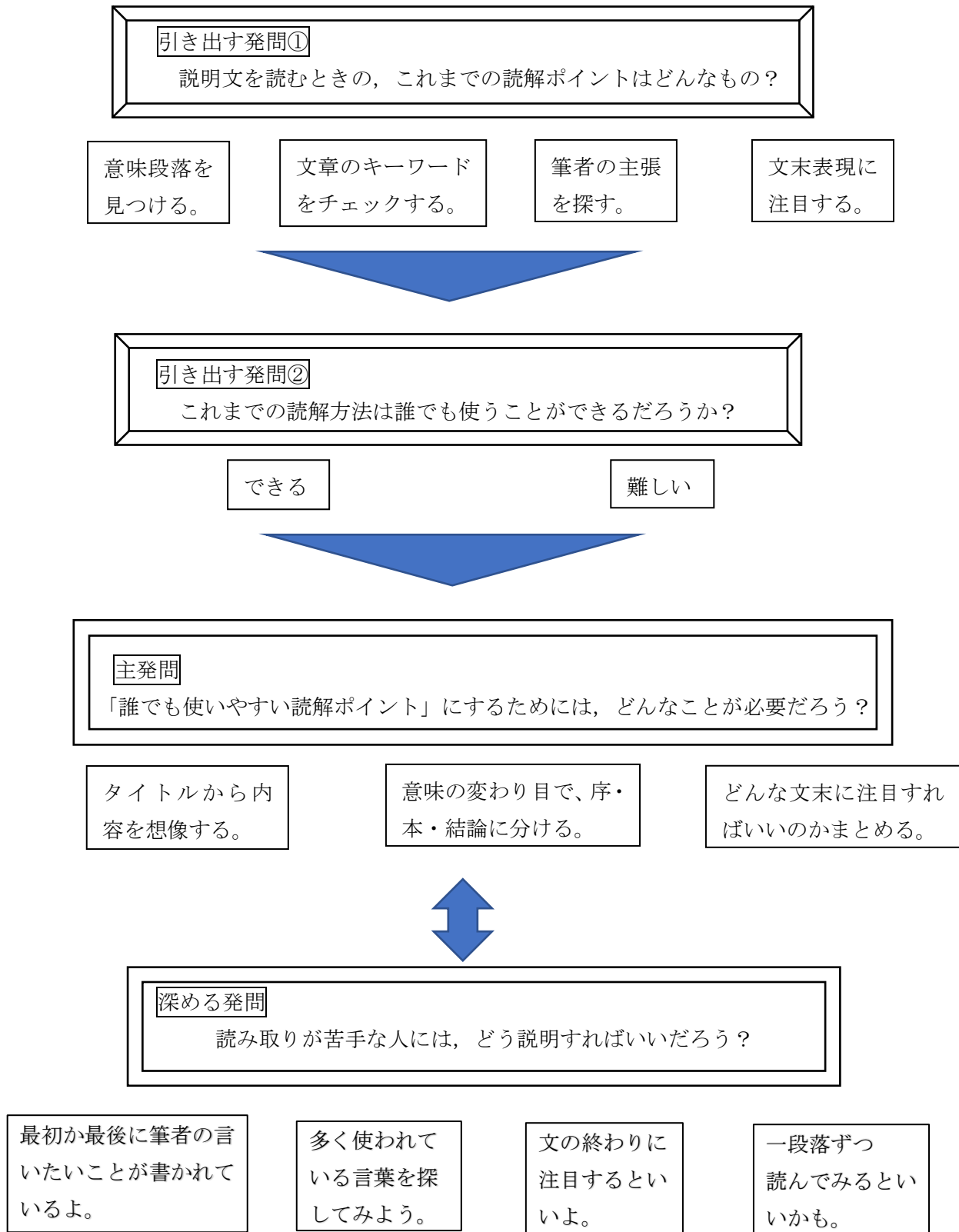
(1) 本時の目標

既習説明文との比較内容を生かして、説明的文章の読解ポイントをまとめることができる。

(2) 学習の展開

学習内容 (○) 学習活動 (・) <b>【学習形態】</b>	指導上の留意点 (◇) (◆)「努力を要する」と判断した生徒へ の手立て	評価規準
〈導入〉 1 ○ミニプリントに取り組み、学習の見通しを持たせる。 <b>【個人】【全体】</b>	◇事実と意見の読み取り問題で、定着度を 確認させる。 ◇「説明文を読むときのポイントは何か」 まとめることを伝える。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             学習のめあて 目指せ、説明文のプロ！「説明文読解ポイント」をまとめよう。           </div>		
〈展開〉 2 ○読解ポイントに必要なことを確認させる。 <b>【全体】</b>  3 ○「誰でも使いやすい読解ポイント」としてまとめさせる。 <b>【班】</b> ・説明文を読む際、自分はどこに注目して読んでいるか交流する。 ・班のメンバーのつまずきを確認する。  4 ○まとめた内容を交流させる。 ・班でまとめた内容を、同じ列の班へ紹介する。 ・相互の内容を検討し、さらに良いものへ修正していく。	◇第2時で整理したことを確認させ、全体で共有する。  ◇班のメンバーのつまずきを解消することを目的として、読解方法を考えさせる。 (つまずきと解消方法(ポイント)の対応を図る。) ◆「シカの『落ち穂拾い』」を読むときに読み取りが難しいと思ったところはどこか考えさせる。  ◇班の代表者が説明を行う。 →伝わる：ポイントとして通用 伝わらない：修正が必要 ↓ 修正案を互いの班で考え、再び交流する。	思・判・表 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 (WS, 発言, GWの様子)
〈まとめ〉 5 ○①説明文読解で最も重要だと思うポイントはどんなことか、②他グループに教えてほしいポイントについてまとめさせる。  6 ○次時への課題意識を持たせる。	◇振り返りとして①, ②を書かせ、現時点での自身の学びの跡として残しておく。  ◇②について、数名発表させ、次時への課題意識を持たせる。	

5 話し合いのデザイン



他の班と、まとめた内容を交流し、より分かりやすいものへと改善を図っていく。

別様

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において，文章の中心的部分と付加的部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。	積極的に事実と意見を読み分けたり要旨を把握したりし，学習の見通しを持って，理解したことをまとめようとしている。